

2023年 1月 23日

交換留学修了届 (2022年度)

フリガナ		学籍番号	
氏名	(印)	所属	学部 学科
ローマ字			

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

■基本情報

留学先国	韓国 (ソウル)
留学先大学	祥明大学
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年歴	2学期：8月下旬～12月下旬
学生数	約12000名
創立年	1937年
留学先での所属学部	韓日文化コンテンツ専攻
留学時の学年	2年生
留学開始・終了時期	2022年8月23日～2022年12月22日 (約4カ月)

■留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？
大学はソウル駅からバスで約20分の場所に位置しています。都会からは少し外れており、比較的静かで落ち着いた雰囲気です。また、大学は坂の上にあるため、坂を上っていくのはとてもしんどいです。幸いにも寮は坂の上にあるため、学校に行くのにとっても楽でした。坂には、コンビニ、トンカツ屋、ハンバーガー、カフェ、韓国料理、日本料理のお店があり手ごろな価格で利用することができます。平日は学生で賑わっておりお昼時はどこも満席ですが、土日は空いています。日曜日はトンカツ屋とカフェ、コンビニしか空いてません。大学の周りは住宅街で、散歩コースや

運動場があるため、よく運動している人を見かけます。ソウル駅までさほど遠くないため、とても過ごしやすい場所にあるなど感じました。また、近くに山があるためか、蚊がとても多く困りました。道路からも離れているため、騒音問題などはありませんでした。

② 留学中はどこに住んでいましたか？

- a. 大学寮 (○) : 何人部屋でしたか (2人)
- b. アパート (): 何人部屋でしたか (人)
- c. ホームステイ (): 何人部屋でしたか (人)
- d. その他 (): 具体的に :

③ 住環境はどうでしたか？

寮は学校のすぐ隣にあり、一番近い学校の建物から約3分かかります。学校の隣にあるため平日は学生の声が聞こえて騒がしいかと思ったのですが、そんなことはありませんでした。寮は3階建てで、私は1階の部屋でした。シェアハウスみたいな感じで、キッチン・リビング・シャワー・トイレ・洗濯機・電子レンジ・冷蔵庫はすべて共用です。個人の部屋が1人部屋2室、2人部屋2室と計4部屋ありました。トイレは1つあり、シャワー室と面しています。また、便器にトイレットペーパーを流せないため、寮のみんなでお金を出し合いゴミ箱を買ってその中に捨てています。個人部屋にはクローゼット、2段ベッド、勉強机、イス、小さなゴミ箱がありました。ベランダがあり、洗濯物を干すこともできます。しかし、先輩の部屋にはベランダが無かったため、困っていました。また、私の部屋は日当たりの良い場所のため、朝は電気をつけなくても十分明るかったです。玄関に防犯カメラがあり、玄関ドアは暗証番号を入力する式です。ドアをしっかり閉めない、ピピピと音が鳴るため締め忘れることがなく、防犯面はとても良かったと思います。ゴミは外に大きなゴミ箱がおかれており、土日と休日以外は毎朝掃除の方が取りに来てくれます。生ごみ専用のゴミ箱と一般ごみ用のゴミ箱があり、分別をしないと罰点が課されます。夏はエアコンと、冬は床暖房がついているため、とても快適に過ごすことができました。

④ 現地のインターネット環境はどうでしたか？

寮にはWi-Fiがあり、インターネット面では特に困ることはありませんでした。バスやカフェなど様々なところにWi-Fiがついているため、インターネット環境は整っていたと思います。また、学校にもWi-Fiがついており、通信速度も問題なかったです。また、私は使い放題のSIMを買い、Wi-Fiなしでも使うことができるためSIMカードを買うことをお勧めします。

⑤ 食事はどうしましたか？

- a. 大学・寮のミールプラン ()
- b. 主に外食 ()
- c. 自炊と外食が半々程度 (○)
- d. その他 () 具体的に :

⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？

現地留学生とは、バディープログラムという現地学生と留学生が一緒のチームになって活動するプログラムで交流を深めました。バディープログラムでは、私を合わせて留学生が4人、現地学生が4人と計8人のグループでした。一緒にご飯を食べに行ったり景福宮などの観光地に行ったりなど様々な場所に出かけました。私は留学生専用の授業だけを履修していたので、バディープ

プログラムがなければ現地留学生との交流が難しい状況でした。他の留学生とは、授業でグループ活動の時に積極的に話しかけたりバディープログラムでも仲を深めたりすることができました。多くの人と交流を深めるためには、自ら積極的に行動することが大事だと思います。

⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？

9/9 から 9/11 までチュソクという秋の収穫に感謝するお休みがありました。学校も休みで、多くのお店が閉まっていました。事前にチュソクの日をチェックしていたので、食料などの必要最低限のものを買いだめしておきました。また、土日は友達と遊んだり、カフェや学校の図書館で勉強したりしました。

⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

新型コロナウイルスや風邪などにかからないように、手洗いや身の回りの物をこまめに消毒しました。また、人が少ない場所でも外ではマスクを着用し、人が多い場所は避けるなど注意しました。危機管理については、在大韓民国日本大使館からのメールで確認しました。感染者数などの新型コロナウイルス関連、台風や大雪に関する気象についての注意喚起、デモや大規模イベントの注意喚起、北朝鮮からのミサイル発射情報など様々なメールが毎日届きました。

⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

韓国ではキリスト教信仰の方が多いため、ソウル駅や明洞周辺でキリスト教を宣伝している人や、勧誘している人がいました。勧誘されたら無視しましょう。また、光化門広場周辺でよく大規模デモがあります。人も多く、マイクを使い大声で喋っているため非常にうるさいです。土日はほとんどデモをしているためバスの運営に変更が多く、出かける際には注意してください。また、信号がない横断歩道を渡る際、日本のようにわざわざ止まってくれる車は少なく、運転も少々荒く感じられました。車には注意してください。

⑩ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。

- a. 留学先大学が指定した保険 (○)
- b. 個人の保険のみ ()
- c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ()

⑪ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。

- a. はい () 具体的に：
- b. いいえ (○)

⑫ 現地で病院に掛かったことはありましたか？

寮に到着した際、結核の診断結果が必要だったため、寮の先生に勧められた病院に検査をしに行きました。寮の先生があらかじめ病院に電話をしてくださっていたため、受付で「結核の検査を受けに来たのですが」と言うだけでもスムーズに受けることができました。看護師の方も親切で安心して検査を受けることができました。院長は英語もできる方なので、韓国語ができない人も英語で結果を聞くことができます。結果は検査を受けて10分ほどで知ることができます。また、韓国の電話番号が必要だったため、やはり韓国のSIMカードを買うことをお勧めします。検査の値段は35000₩程度でした。

<p>⑬ 大学内の医務室・診療所（附属病院など）で医療サービスを受けることは可能でしたか？</p>
<p>大学には保健室があります。具合が悪い時や小さな怪我をしたときに気軽に立ち寄ることができ、手当てをしてくれます。頭痛薬や風邪薬など症状に合った薬、また、コロナの自己検査キットも提供して下さるそうです。先生もとても親切な方で、立ち寄りやすいです。</p>
<p>⑭ 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか？留学先に相談窓口はありましたか？</p>
<p>学内外で問題があった際は、大学のコミュニケーションチームの先生が対応してくれます。保険について、履修相談について、コロナ関連についてなど些細なことから相談に乗ってくれます。J館の1階にコミュニケーションチームの事務所があり、平日の9時から17時まで開いています。また、気軽にカカオトークでも相談することができました。寮での問題は、寮の先生に相談をしました。コミュニケーションチームと同様に、寮の先生とのカカオトークもあるため、気軽に相談することができました。また、カカオトークだけではなく寮の行政室もあり、平日9時半から21時まで先生方がいらっしゃいます。どちらとも対応が早く、当日または翌日には問題を解決することができました。</p>
<p>⑮ 現地での危険情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？</p>
<p>在大韓国民日本大使館からのメールで危険情報を収集しました。北朝鮮からのミサイル発射のメールや、大規模イベントの開催についての注意喚起、大雪などの気象情報などが毎日メールで送られてくるため、危機感を持って行動することができました。また、入国当初は財布やパスポートが取られないか心配だったので、肩掛けカバンで体の前にしたり、チャック付きのカバンにしたりなど防犯対策には注意をしました。</p>

■ 留学先での学習について

<p>① 留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 ※ 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「会話と自己表現」：150分（月曜日 13:00～13:50, 14:00～14:50、木曜日 11:00～11:50） → プレゼンや発表で必要な会話表現を学ぶ ・「人間と言語」：150分（木曜日 12:00～12:50, 13:00～13:50, 14:00～14:50） → 言語学 ・「思考と表現」：150分（水曜日 14:00～14:50, 金曜日 15:00～15:50, 16:00～16:50） → 大学で書く報告書や自己PRなど書く表現を学ぶ ・「韓国文化入門」：150分（火曜日 14:00～14:50, 15:00～15:50, 16:00～16:50） → ゲストスピーカー、フィールドワーク
<p>② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。</p>
<p>履修は追手門と変わらず、時間が被らないように自分が受けたい授業を選びます。祥明大学では、</p>

他学部他学年の授業を受けることができますが、あまりにも自分の専攻と関係ないものや制限がある授業もあるので、詳細の欄を見ながら履修することをお勧めします。また、韓国の履修登録は先着順なので、定員に達した授業は履修することができません。しかし、交換留学生は他の学生とは別に1週間ほど特別に履修登録期間が与えられるので、十分に考えて履修することができます。履修で分からないことがあれば、国際コミュニケーションチームの先生に質問をします。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

授業に関して特に困ったことはありませんでした。やはり外国語なのでついていけるか心配だったため、一番前の席に座りメモを取りながら一生懸命前向きな姿勢で授業を受けました。履修していた授業が少人数の授業が多く、質問や発言をしやすく、積極的に授業に参加しました。教授も優しく、分からないところを質問したら丁寧に答えてくださいました。一生懸命真面目な態度で授業を受けたため、良い成績が取れたのではないかと思います。

■ 留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

① 外部語学試験	
〔留学前〕 韓国語能力試験 4 級	〔留学後〕
② 資格試験	
〔留学前〕	〔留学後〕

■ 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。 a. () 4年で卒業予定 b. (○) 卒業は延期する予定(延長予定期間:)
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など) 将来したいことが明確に決まっていないため、4年で卒業するかどうかはまだ考えていません。しかし、韓国語を使った仕事には就きたいと思っています。留学中に、私の韓国語能力はまだまだだと感じ、文化や政治に関しても学ぶべきことがたくさんあります。追手門での学業を頑張りながら、韓国語能力試験6級を目指し、文化や政治についての勉強も頑張りたいと考えています。

■ 留学全般について

① 留学を終えての学習成果を教えてください。 授業を通して、リスニング力と語彙力がアップしたと考えます。韓国語での報告書や文章の書き方、また韓国語でのプレゼンテーションの仕方など様々なことを学ぶことができました。また、「人間と言語」

の授業では、韓国語の助詞や尊敬語を学び、より韓国語について詳しく理解することができたと感じます。「韓国文化入門」の授業は、すべて英語で行われていましたが、留学前に英語の事前学習があったため助けになりました。4つの授業を履修していたのですが、3つはA+、1つはB+と比較的良い成績を取ることができました。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

大きく言うと、自分の中の価値観がガラッと変わりました。日本で生活しているときは、周りと同じ文化を共有し同じような考えを持っている人が多く、自分と違う価値観を持っている人があまりいませんでした。しかし、留学先では他国から来る留学生や現地の人々など、私とは違う文化、宗教、価値観を持っている人が多くいます。私の中で当たり前と思っていた価値観と違う出来事が多く、今までの自分の価値観について考え直すきっかけになり、物事を様々な視点から考えることができるようになりました。また、性格についても少し変わったと感じます。今までは、人の目を気にしたり顔色をうかがったりすることが多く、自分の意見やしたい行動ができずにいました。しかし、留學生活で人と接するなかで、自分の意見を求められる機会が多くありました。多くの人が「そういうこともあるよね」「確かに」と相手の意見をまずは受け入れ、その後に自分の意見をちゃんと伝えていました。その姿をみて、もっと自分らしくいていいんだと思うようになり、固定観念のとらわれない柔軟な考えや多種多様な価値観などの触れられたことが、自分を大きく成長させました。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学に行こうかどうか少しでも悩んでいるなら行った方が良いです。最初は不安かもしれませんが、一歩勇気を出していったら、それだけで自信になり、行って得られることがたくさんあります。留学では様々な人に出会うため、様々な文化や価値観を知ることができ、自分を見つめ直す機会になります。語学だけでなく、考え方についても大きく成長できるものだと思います。悩むよりもまずは行動することが大事です！ぜひ自分を信じて挑戦してみてください。

■ 学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
대화와자기표현	会話と自己表現
科目設置学部・研究科	大学院・韓国学科
履修期間	
単位数	3単位
本学での単位認定状況	
授業形態	対面授業
授業時間数	150分
担当教授	パク・ゴンスク (박건숙)
授業内容	韓国語でのプレゼンテーションの構成（主題と内容があっているか、発表の

	決まり文句、レイアウトなど)
試験・課題など	自己PR 動画提出 (中間課題)、プレゼンテーション (期末課題)、動画やプレゼンテーションに対する評価文 (中間・期末課題)、授業内容に関する課題 (プリント提出など、)
学習成果 (自由記入)	プレゼンテーションや発表など人前で話す機会が多かったため、人前でもあまり緊張せずハキハキ発表できる力が身に付きました。また、韓国語で行うため、韓国語の発音や文章の構成など語学面でも成長することができました。韓国語と日本語の文法はほとんど同じなため、日本語でプレゼンテーションするときにも役立つ知識を得ることができたと感じます。プレゼンテーションの文章構成だけでなく、声の大きさや態度など、自分を振り返って評価するという課題があったため、自分の苦手分野や課題などを見つけることができました。他の生徒の発表を聞いて、自分には何が足りないのかを考え、相手の良い部分をマネするということが大切だと気づきました。
履修した授業科目名 (留学先大学言語) :	履修した授業科目名 (日本語) :
한국문화입문	韓国文化入門
科目設置学部・研究科	教養学科
履修期間	
単位数	3単位
本学での単位認定状況	
授業形態	対面授業
授業時間数	150分
担当教授	フランシス・ブレノン (프란시스브래넌)
授業内容	フィールドワーク (ロッテワールド、ソウルタワーなど)、ゲストスピーカー
試験・課題など	プレゼンテーション (中間・期末課題)、エッセイ (期末課題)
学習成果 (自由記入)	美術館や博物館、トッポギ、餅作り体験などのフィールドワークを通して、韓国の様々な文化に触れることができました。様々な場所に行き、自分は韓国の何に興味関心があるのかなども考えさせられました。昔から現代の文化や歴史まで多くのことを実際に体験しながら、リアルな韓国を感じることはできたと考えます。ゲストスピーカーでは、番組で活躍している人、アーティスト、ユーチューバーなど、実際に体験をしている人から貴重な話をたくさん聞くことができました。また、この授業はすべて英語で行われるため、私にとっては大変でした。しかし、この授業のおかげで、韓国語だけでなく英語についても理解を深められたような気がします。この授業では英語をネイティブレベルにできる生徒が多く不安でしたが、みんな優しくラフな雰囲気、「間違っても大丈夫」「堂々とすることが大事だ」と気づかせてくれま

	した。また、自分の国を紹介するプレゼンテーションがあり、韓国だけでなく、ブルネイや中国、台湾など他の国についての文化も学ぶことができました。
--	------------------------------------------------------------------------

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
사고와표현		自己と表現	
科目設置学部・研究科	教養教育学科		
履修期間			
単位数	3単位		
本学での単位認定状況			
授業形態	対面授業		
授業時間数	150分		
担当教授	ヤン・テヨン (양태영)		
授業内容	韓国語でのメール・報告書の書き方や構成（正しい文章表現、文語体、段落の概念など）		
試験・課題など	報告書提出（中間・期末課題）、プレゼンテーション（期末課題）、授業内容に関する課題（プリント提出など）、授業内容に関する試験（中間・期末）		
学習成果（自由記入）	教授へのメール、主題を決めて報告書を書くなど自分で考えることが多い授業だったため、自分で考える力や韓国語の筆記など多くの力を身に付けることができたと思います。韓国語だけでなく、日本語で考えるときにも必要な力だと思いました。個人的に、この授業が留学生活で一番役に立ったと感じます。課題が多く少し難しかったですが、私の留学生活の助けになり意味があるものでした		
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
인간과언어		人間と言語	
科目設置学部・研究科	韓国語教育専攻		
履修期間			
単位数	3単位		
本学での単位認定状況			
授業形態	対面授業		
授業時間数	150分		
担当教授	イ・ジョン (이지영)		

授業内容	言語学（言語とは何か、韓国語の文法、単語の構成、文章成分など）
試験・課題など	報告書（期末課題）、プレゼンテーション（期末課題）、授業内容に関する試験（中間・期末）
学習成果（自由記入）	韓国語の品詞、尊敬語、受動態や使役動詞など詳しく韓国語について学ぶことができ、韓国語に対して理解を深めることができました。また、母国語と韓国語を比較して共通点と相違点を挙げるという課題があり、韓国語だけでなく日本語についても、改めてどのような言語なのかを考えさせられました。

■ 留学費用について

		現地通貨：₩(ウォン)	円換算：1000₩ = ¥100
留学費用項目	現地通貨	日本円（換算）	その他（備考欄）
授業料			なし
滞在費	982000₩	9,8200 円	寮費(2人部屋)
食費			
図書費		3,000 円	教科書 2 冊
学用品費			
教養娯楽費			
被服費			
医療費			
保険費		126,246 円	包括保険(学校指定) 59,010 円 国民健康保険(韓国) 約 67,236 円
渡航旅費(航空運賃・空港税など)		157,340 円	海外航空券代、燃油サーチャージ等、発券手数料等、留学サポート代
雑費			
その他		35,000 円	健康診断、書類発行代(残高証明書等)
その他			
その他			
合計		419,786 円	

以上

本学学生の個人的な質問等に回答していただける方、また卒業後のフォローアップ調査に協力いただける方は、下にお名前と連絡先をご記入ください。ご記入いただいた個人情報は、本目的以外には利用致しません。

学籍番号	
氏名	

メールアドレス (長期使用のもの)	
----------------------	--